

2024年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年6月1日

上場会社名 ピープル株式会社 上場取引所 東
コード番号 7865 URL <https://www.people-kk.co.jp/>
代表者(役職名) 取締役兼代表執行役(氏名) 桐瀬真人
問合せ先責任者(役職名) 執行役(氏名) 飛田留美子 (TEL) 03-3862-2768
四半期報告書提出予定日 2023年6月2日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年1月期第1四半期の業績(2023年1月21日~2023年4月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第1四半期	1,011	△28.8	1	△99.2	6	△95.3	4	△95.5
2023年1月期第1四半期	1,420	88.4	117	253.8	117	288.9	81	291.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第1四半期	0.84	—
2023年1月期第1四半期	18.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年1月期第1四半期	2,355	2,086	88.6	476.79
2023年1月期	3,014	2,329	77.3	532.35

(参考) 自己資本 2024年1月期第1四半期 2,086百万円 2023年1月期 2,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	—	0.00	—	58.00	58.00
2024年1月期	—	—	—	—	—
2024年1月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 2024年1月期の配当につきましては、通期業績見通しと連動して勘案する方針でおりますため、中間配当の実施は見送り、年末商戦状況を見極めた上で期末配当予想を発表させていただきます。

3. 2024年1月期の業績予想(2023年1月21日~2024年1月20日)

2024年1月期第2四半期累計期間 業績予想(2023年1月21日~2023年7月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,361	△42.7	67	△83.4	71	△82.2	49	△82.2	11.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社の通期業績は、年末商戦期間(10~12月)の業績に大きく左右されます。本来通期業績予想を掲げるべきですが、このような玩具市場の特性に鑑み、直近で見通せる次期四半期の予想を掲げさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年1月期1Q	4,437,500株	2023年1月期	4,437,500株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年1月期1Q	63,352株	2023年1月期	63,352株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年1月期1Q	4,374,148株	2023年1月期1Q	4,374,221株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第1四半期累計期間】	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. 補足情報	7
カテゴリー別販売の状況	7
① 第1四半期累計期間売上高	7
② 新発売商品及び主なりニューアル商品	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

米国では中堅銀行の破綻による金融不安から、大手量販店やネット販売の競争で破綻に至る小売店も発生しています。玩具業界では、昨年後半からのぜいたく品を買い控える傾向から、年末商戦で売れ残ってしまった在庫を消化する時期が続いておりましたが春の商戦で一区切り、今後は例年ほどではないにせよ、注文も復活する見込みです。

当社においては、米国向けの主力「Magna-Tiles」の輸出において、当四半期は前期年末に消化しきれなかった在庫の出荷から始まり、しだいに手頃価格セットや人気アイテムの消費回復の兆しに沿って新規注文が入る等、若干の動きがみられました。とはいえ、流通の思惑によりイレギュラーな大量注文のあった前年同期間との比較では、売上高は4割程の減となりました。

日本国内においては、食品や生活必需品、関連費用の相次ぐ値上げ等が消費動向に影響を及ぼす一方で、各地で3年ぶりの集客イベント開催や旅行・レジャーへと消費の傾向が偏った結果、玩具業界全体が厳しい状況となりました。

当社においては業界全体の傾向と同様、厳しい状況が続いています。このような中、収益性改善に向け、当期も4月に乳児・知育玩具を中心に22品の値上げを実施しました。それにより、値上げ月度前後の流通在庫調整が当四半期売上に影響し、国内販売は前年同期間比2割ほどの減となりました。

経費では、新事業開発のための先行投資等約20百万円の研究開発費を含み、経費全体で前年同期間比1.7%増となりました。

営業外収益では、前期発生した自転車リコールに伴う回収関連費用の保険補填が9百万円あり、利益加算となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高10億11百万円（前年同期間比28.8%減）、営業利益1百万円（前年同期間比99.2%減）、経常利益は6百万円（前年同期間比95.3%減）、四半期純利益は4百万円（前年同期間比95.5%減）となりました。

(中期的な方針)

前期通期報告にて説明いたしましたとおり、近年の外部環境の急激な変化により、当社業績は収益性が悪化する状況に直面しています。値上げなどの止血対策を継続的に行っているものの、根本的な収益性の改善には、収益性の高い新商品をヒットさせることが必要だと考えています。

当社の強みを最大限に活かせるビジネスモデルとして、前期に掲げた「子どもの好奇心が、はじける瞬間をつくりたい」というパーパスに基づく、新商品開発に、中期的な視点で投資を集中していきます。

(パーパス制定後の企業活動の進捗)

まず、パーパスから遠く、かつ将来的な利益成長が当社の力では難しいと判断したカテゴリーを手放していく決断をしました。まずは自転車シリーズ（遊具・乗り物カテゴリー）の製造販売終了の告知をいたしました。空いたリソースは、新事業開発に充てていきます。

新事業開発促進策として、企画コンペの定期開催を発足しました。また企画開発チームのスムーズな進行のために「ピープルファンドチーム」（新事業等の投資社内管理チーム）等のサポート体制を整えた結果、2025年のローンチに向けて複数のプロジェクトが進行しています。（前期より継続活動）

前期、企業ブランド認知促進のため、広報チームを発足しました。「こどもSDGs」の活動がメディアの目に留まり、複数メディアに掲載されました。当期もSNSの活用やメディアへの継続的な広報活動を実施してまいります。

また、2023年4月13日に開催しました当社定時株主総会において、お子さま・お孫さま連れでの株主様ご参加を促し、「子どもまんなか株主総会」の第1回目を開催いたしました。

その一部様子がこちらからご覧いただけます。（掲載記事2種）

PR TIMES STORY <https://prtimes.jp/story/detail/qb6ovdu0ykb>

Twitter https://twitter.com/PRTIMES_TV/status/1648884197648478209

(カテゴリー別の概況)

当第1四半期累計期間の各カテゴリー別売上高およびリニューアル発売品につきましては、7ページをご参照くだ

さい。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末から6億59百万円減少の23億55百万円となりました。資産の部では、流動資産が主に受取手形及び売掛金の減少等により、前事業年度末から6億53百万円減少の20億33百万円となり、固定資産では、主に有形固定資産の減少等により、前事業年度末から5百万円減少の3億22百万となりました。

(負債)

負債では、流動負債で主に買掛金、未払法人税等の減少により、負債合計で前事業年度末から4億15百万円減少し、2億69百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、主に配当金支払等により、前事業年度末より2億43百万円減少し、20億85百万円となり、結果、自己資本比率は88.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

(第2四半期累計期間 業績予測)

現在、2025年ローンチを目指し「子どもの好奇心市場」を実現するための複数プロジェクトを進行しています。

一方、新事業にリソースを集中するため、パーパスから距離があり当社の力では将来的な利益成長が難しいと判断したカテゴリーを終了させるプロジェクトを進めております。

前述の通り、第1四半期において、当社遊具・乗り物カテゴリーの内、自転車シリーズの製造終了を決断しました。この自転車事業終了により現在は在庫販売を進行しております。

第2弾として当期下期を目途に、お人形「ぼぼちゃんシリーズ」を終了することといたしました。当シリーズは一昨年25周年を迎えながらも、いまだに愛され、お母さま世代からお子さまへも受け継がれて遊んでいただいております。未だファンの多い商品ではございますが、上記のような理由から、商品のフェードアウトを待つことなく自ら幕を下ろす判断を致しました。今でも遊んでくださるお客様や、長くご協力いただいておりますお取引先様への感謝を込めて、ぼぼちゃんグランドフィナーレイベントを行い、今年末終了する予定であります。

次第2四半期(2023年4月21日～2023年7月20日)は、国内販売では市場の不振に加え、これら2シリーズが在庫販売のみになることも売上に影響すると見ております

また、海外販売においては、「Magna-Tiles」シリーズの米国消費動向や競合品、その他様々な外部環境に左右されながら、現状では通期ならして前期の7割程の出荷量で進行すると見ております。

以上のことから、第2四半期累計期間(2023年1月21日～2023年7月20日)は、売上高23億61百万円(前年同期間比42.7%減)、営業利益67百万円(前年同期間比83.4%減)、四半期純利益49百万円(前年同期間比82.2%減)と予想しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年1月20日)	当第1四半期会計期間 (2023年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,313,219	1,121,692
受取手形及び売掛金	396,315	303,075
商品	664,341	594,817
原材料	528	530
その他	312,924	13,888
貸倒引当金	△1,356	△1,234
流動資産合計	2,685,971	2,032,769
固定資産		
有形固定資産	62,299	50,974
無形固定資産	25,741	23,483
投資その他の資産	239,532	247,628
固定資産合計	327,572	322,085
資産合計	3,013,543	2,354,854
負債の部		
流動負債		
買掛金	70,601	52,945
未払法人税等	103,519	1,611
その他	510,861	214,737
流動負債合計	684,981	269,293
負債合計	684,981	269,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,878,617	1,628,569
自己株式	△34,362	△34,362
株主資本合計	2,245,760	1,995,713
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	82,802	89,848
評価・換算差額等合計	82,802	89,848
純資産合計	2,328,562	2,085,561
負債純資産合計	3,013,543	2,354,854

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年1月21日 至 2022年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年1月21日 至 2023年4月20日)
売上高	1,419,952	1,010,740
売上原価	1,026,250	728,533
売上総利益	393,702	282,207
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	24,498	18,599
販売促進費	26,125	23,074
運賃	39,839	36,284
役員報酬	17,454	17,454
給料及び手当	36,052	35,237
退職給付費用	4,080	4,318
支払手数料	31,141	35,347
研究開発費	46,955	62,173
その他	50,572	48,841
販売費及び一般管理費合計	276,717	281,326
営業利益	116,986	881
営業外収益		
受取利息	46	55
受取保険金	-	8,961
その他	203	172
営業外収益合計	249	9,188
営業外費用		
為替差損	130	4,508
営業外費用合計	130	4,508
経常利益	117,104	5,561
税引前四半期純利益	117,104	5,561
法人税、住民税及び事業税	28,330	2,989
法人税等調整額	7,652	△1,081
法人税等合計	35,982	1,907
四半期純利益	81,122	3,653

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. 補足情報

カテゴリー別販売の状況

① 第1四半期累計期間売上高

(単位 千円)

カテゴリー名	2023年1月期 第1四半期 (自 2022年1月21日 至 2022年4月20日)	2024年1月期 第1四半期 (自 2023年1月21日 至 2023年4月20日)	前年同期比(%)
乳児・知育玩具	287,602	275,613	95.8
ドール・メイキング玩具	64,400	43,064	66.9
遊具・乗り物	151,920	87,849	57.8
その他(育児・家具)	36,487	43,041	118.0
海外販売	879,543	561,173	63.8
合計	1,419,952	1,010,740	71.2

② 主なリニューアル商品

カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (税込)
乳児・知育玩具	「やりたい放題ビッグ版リアル+」	¥7,920
	「やりたい放題セレクト」	¥5,720
	「やりたい放題スマート本」	¥6,600
	「指先の知育オールスター」	¥3,960
	「指先の知育小さいもの大集合」	¥1,870
	「指先の知育集中コースター」	¥1,870
	「指先の知育フタの中身はなんだろう？」	¥1,760
	「知脳リモコン」	¥2,178
	「iTフォン」	¥1,870
	「五感刺激キー」	¥1,650
	「なめられ太郎五代目」	¥880
	「追いかけてこしましよ」	¥2,398
	「ピタゴラスBASIC 1歳の知育ピタゴラス」	¥4,950
	「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい! どうぶつえん」	¥6,600
「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい! ボールコースター」	¥4,400	